

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	すくすくホップ(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間		2025年 1月 10日	~ 2025年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間		2025年 2月 17日	~ 2025年 2月 22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 15日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広くて清潔な環境で、安心して過ごすことが出来ます。	利用児者が安全に過ごせるよう、物の配置等は考慮しています。また季節感のある環境作りや、落ち着いて過ごせる空間作りを心掛けています。	今後も継続し、安全且つ安心して過ごせる空間を提供します。
2	事業所の活動プログラムが充実しています。	利用児者の育ちや発達段階に寄り添った活動を取り入れられるように、職員間の意見交換を大切にしています。また利用児者が好きな活動は定期的に取り入れ満足度を高めたり、季節感のある活動を取り入れています。	他事業所との交流や勉強会等を行い、更なる活動プログラムの充実を図ります。
3	ご家族との関わりも大切にしています。	ご家族も参加できるイベントを定期的に開催しています。また、その日の様子を保護者へ丁寧にお伝えしています。	利用児者だけでなく、ご家族が参加できるイベントの開催を継続していきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団活動が十分に行えていません。	登録者数が少ないことが要因であります。個別での活動の良さを生かしながら、施設内の交流を持っていきます。	来年度は、他クラスと合同での療育支援を予定しています。個別支援と集団支援のバランスを大切に、より良い支援を提供していきます。
2	災害時に対応について、保護者へ充分に周知出来ていませんでした。	保護者に対し、具体的な避難訓練実施日をお知らせ出来ていませんでした。	来年度より、年間予定表に避難訓練予定日を取り入れ、保護者への周知に努めます。
3	地域の方々との交流する機会を、あまり設定できていません。	平日は時間の関係で交流の場を設定することが難しいと感じています。また定期的にお祭り等を企画していますが、周知が不十分で多くの方にご参加いただけていません。	お祭り等のイベントは、興味を持っていただけるように内容を工夫していきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	すくすくホップ(児童発達支援)
------	-----------------

公表日 2025年 3月 15日

利用児童数 4

回収数 2

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2					規定の人数・職員配置は守って運営しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1			1		今後も心地よく過ごせる環境を整えていきます
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2					今年度中に支援プログラムの公表を行います。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1			1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2					他の事業所との交流や意見を取り入れて固定化しない様に今後も検討していきたいと思います。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。		1	1			春祭りや秋祭り、事業所内の公園での交流はありましたが、しっかりと交流できるよう検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2					今後の課題として検討し、研修や情報提供の機会を作りたいと思います。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			1		今後も子どもだけでなく、家族やきょうだい児も一緒に楽しめる機会を作っています

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2				相談や申し入れがあった際には、迅速に対応することを心掛けていきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2				今後も日々の活動を発信していきます
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1			1	マニュアルは策定し、訓練も実施しています。家族への周知ができていないので、今後は周知できるよう改善します
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1			1	火災・水害・地震の発生に備えた訓練を行っています。行っている様子も発信できるよう改善します。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2				安全が確保されたうえで活動をおこなっています。今後も安全の確保を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2				事故やお子様に変化があった場合はご連絡させていただいています。今後も子どもたちの安全・安心に留意してまいります。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2				ありがとうございます。 今後も楽しく通所できるよう支援を考えています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	2				ありがとうございます。 今後もよりよい支援ができるようにしてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		すくすくホップ(児童発達支援)				公表日	2025年 3月 15日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		必要なもののみ部屋に置き、スペースの確保をしています		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		定員や規定の配置は守られているが、重症度に応じた人員は確保できない場合もあると感じたため、改善していきます		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		環境上の配慮はされているが、子どもにわかりやすくという点は改善します		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		今後も心地よく過ごせる環境を提供できるようになります。		
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		一つの部屋を多目的な部屋として使用し、個別でも使用でき、また必要に応じてパーティションで区切れるよう準備しています		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	1	3	目標設定は行っているが、振り返りが十分でないときがあるので、改善します		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1	今後は定期的な面談を取り入れ、職員の意見の把握や業務改善につなげていきます		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	2	法人内の研修は取り入れており、できるだけ多くの職員が参加できるように対応しています	法人内の研修にプラスして、専門性に応じた研修(外部)があるとさらに良いと感じるため、検討します	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		今年度中に公表します		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		職員会議での共有や、個別支援会議等でニーズや課題を話し合い作成しています		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		職員会議での共有や、個別支援会議等でニーズや課題を話し合い作成しています		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1	共有されきれていない部分があるので、共有方法を検討し改善します		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2	標準化されたツールを用い、さらによくなるよう今後改善します		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		楽しんでもらえるよう季節に応じた活動を取り入れています		

供 給	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		他の事業所との交流や意見を取り入れて固定化しない様にしています	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		体調に合わせて活動を行い、適宜個別の対応をするなど個別に合わせて支援しています	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	2	チームで職種ごとに連携して支援を行っています	打ち合わせについてはできるよう改善します
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	終礼や朝礼で特記事項の共有は必ずしています	支援の振り返りや情報共有は都度行っているが、打ち合わせ等共有はできるよう改善します
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	2	2	日々の記録以外にも特記事項は職員会議等で再度確認して共有・検証につなげています	記録をとれない日もあるので、記録の時間をとれるよう改善します
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4		職員会議での共有や、個別支援会議等で二ズや課題を話し合い作成しています	
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			担当者会議の前後にも事業所内で会議・共有できる時間を設けられるよう改善します
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		主治医や訪問看護、相談支援員、学校等と連携し支援を行っています	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	担当者会議や相談支援員を通して情報共有を行っています。	今後も相互理解を図りよりよい発達支援となるよう、情報共有を行っていきます
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4		就学前には、事業所に訪問してもらったり、必要に応じて情報提供を行っています	就学後も安心して通えるよう、情報共有や相互理解を深めていきます
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
運 営 方 法	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	2	2	児童発達支援連絡会へ参加しています	今後は研修などの参加や助言をいただいていきます
	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4		今年度はしっかりとした交流ができなかつたので今後は、交流する機会を設けていきたいと思います
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	2		今後の課題として話し合っていきます
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	1	契約時、変更時、また質問があったときには都度説明をおこなっています	支援プログラムについては今年度中に提示するので説明を行っていきます
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1	職員会議での共有や、個別支援会議等で二ズや課題を話し合い作成しています	

保護者への説明等	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		モニタリング時以外にも送迎時、電話やメール等適宜行っています	
	39 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	季節のイベントにきょうだいも参加し、きょうだいにも楽しんでもらえるよう配慮しています	今後もきょうだい同士の交流はできる機会を作っていきます
	40 こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			今後も必要時は迅速・適切に対応できるようにしていきます
	41 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		インスタグラムを中心に活動報告を行っています。今年度からLINEを取り入れ、保護者との連絡や予定の調整がしやすくなつた感じています	
	42 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		利用中の様子を送迎時や連絡帳にて情報伝達しています	
	44 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1	春祭り、秋祭りを開催し地域住民を招待しています。また敷地内の公園を開放し、地域の子どもたちが遊べるようになっています	
	45 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1		マニュアルは策定し、訓練も実施しています。家族への周知ができていないので、今後は周知できるよう改善します
非常時等の対応	46 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		災害に備え、全員分の内服や食事等のお預かりを行っています	BCPは策定し、訓練も実施しています。家族への周知ができていないので、今後は周知できるよう改善します
	47 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	3	1	事前に確認を行い、服薬やてんかん発作時に必要な座薬等お預かりしています	
	48 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		看護指示書や実施依頼書に記載しています 活動等でもアレルギーの心配がある児童に対してはあらかじめ保護者へ相談し対応しています	
	49 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	2	2	事業所・設備の安全点検、マニュアルの策定・共有を行い必要に応じて訓練を行っています	
	50 こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	2		家族への周知ができていない部分があるため、今後は改善します
	51 ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		終礼、または職員会議内で共有し、再発防止に向けた検討を行っています	
	52 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		法人内研修にて虐待防止委員会が研修を行っています。複数日設定し、全職員が研修を受けるように対応しています	
	53 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			